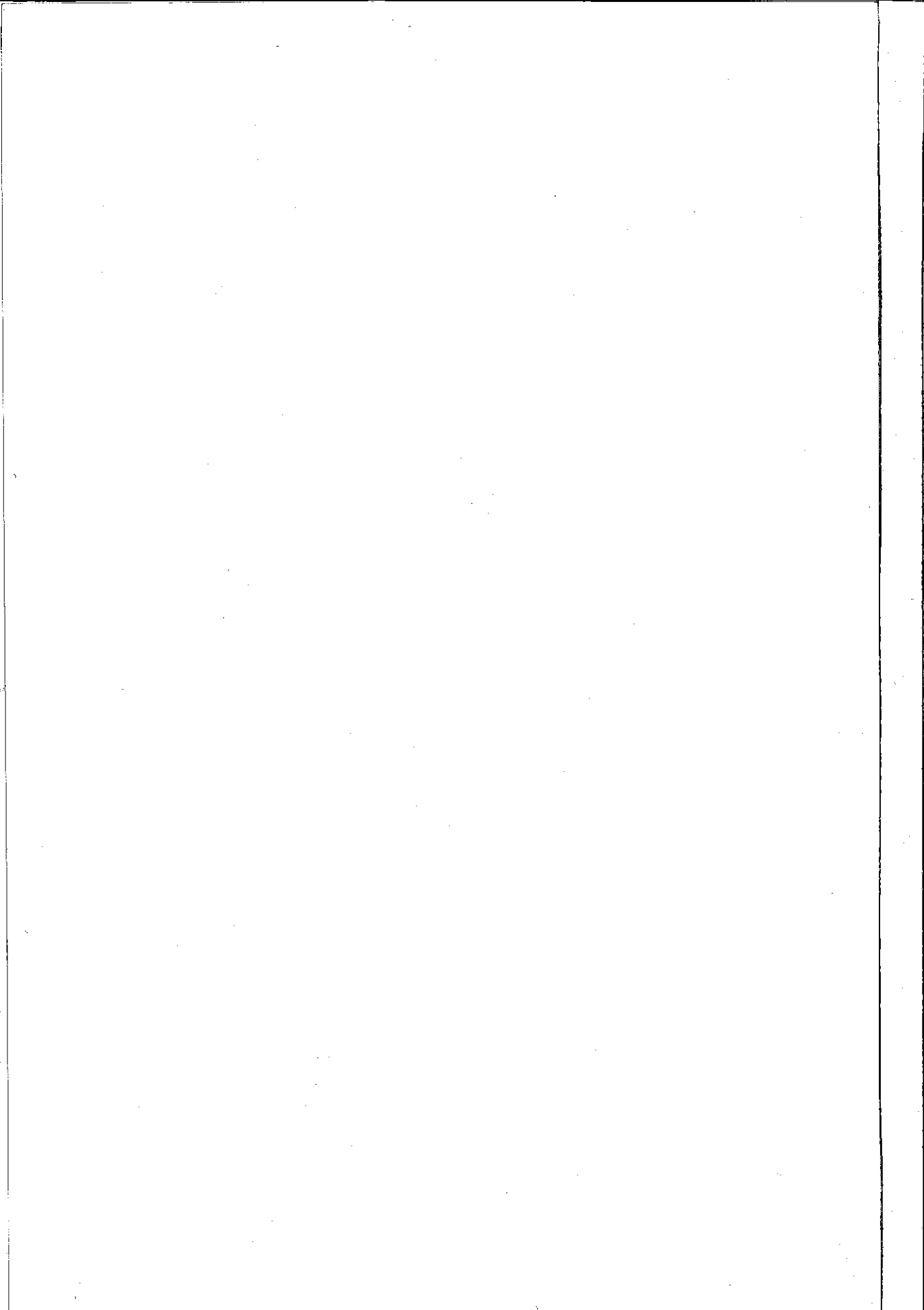


第 12 回

品川区の統計

昭和 48 年

品 川 区



ま え が き

品川区行政の基礎資料として区の行財政、教育文化、産業、経済、社会などの分野については最新の調査による基本的統計資料のほか、区民の日常生活に密接な関係を持つ保健、交通、通信、警察、消防、労働等の資料をも集録し、総合的に編集して、区の現況を紹介する年次統計書です。

本書は躍進を続けている、わが品川区の過去と現在を明らかにして、行政計画の策定および行政効果の測定の助けとすると共に、さらには諸施策の総合的判断の資料とし、併せて区民の参考に供する目的とをかね、親しまれ活用される統計として区政発展の責を果すことができるならば、まことに幸であります。

資料の取捨選択、編集の方法については将来さらに研究を重ねて一層の充実を図っていく所存であります。

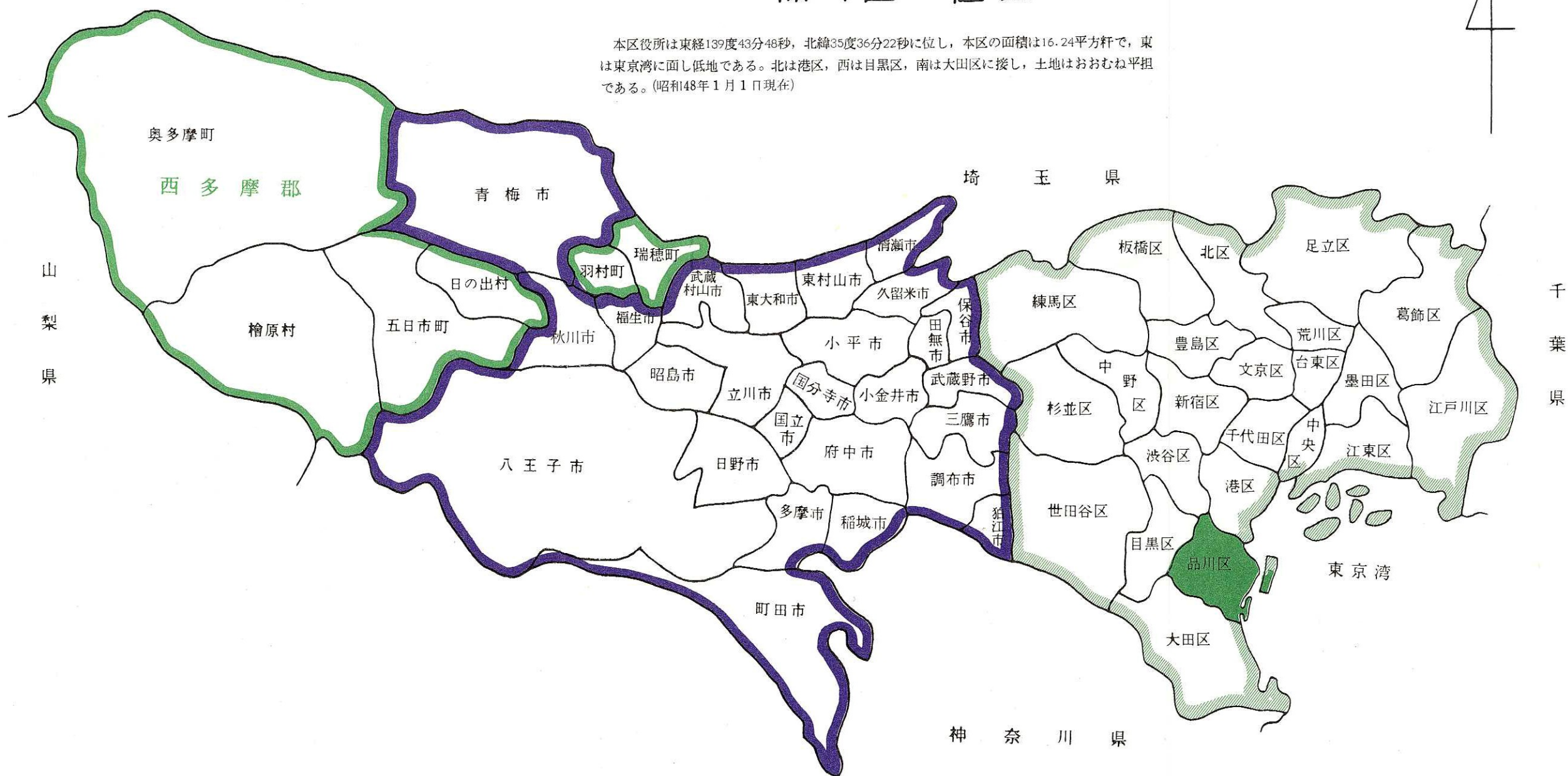
今般貴重な資料を提供された関係各位の、ご好意に対して深く感謝すると共に今後のご協力をお願いするものであります。

昭和48年7月

東京都品川区長 多賀榮太郎

品川区の位置

本区役所は東経139度43分48秒、北緯35度36分22秒に位し、本区の面積は16.24平方軒で、東は東京湾に面し低地である。北は港区、西は目黒区、南は大田区に接し、土地はおおむね平担である。(昭和48年1月1日現在)



臺灣地圖

此圖係根據最新測量資料繪製，其比例尺為 1:100,000。圖中所示之區域，係指臺灣本島及其附屬島嶼而言。圖中各縣界，均係根據最新行政區劃分而繪。圖中各鄉鎮界，均係根據最新戶口調查資料而繪。圖中各里界，均係根據最新戶口調查資料而繪。圖中各村落界，均係根據最新戶口調查資料而繪。圖中各自然村界，均係根據最新戶口調查資料而繪。圖中各自然村界，均係根據最新戶口調查資料而繪。圖中各自然村界，均係根據最新戶口調查資料而繪。

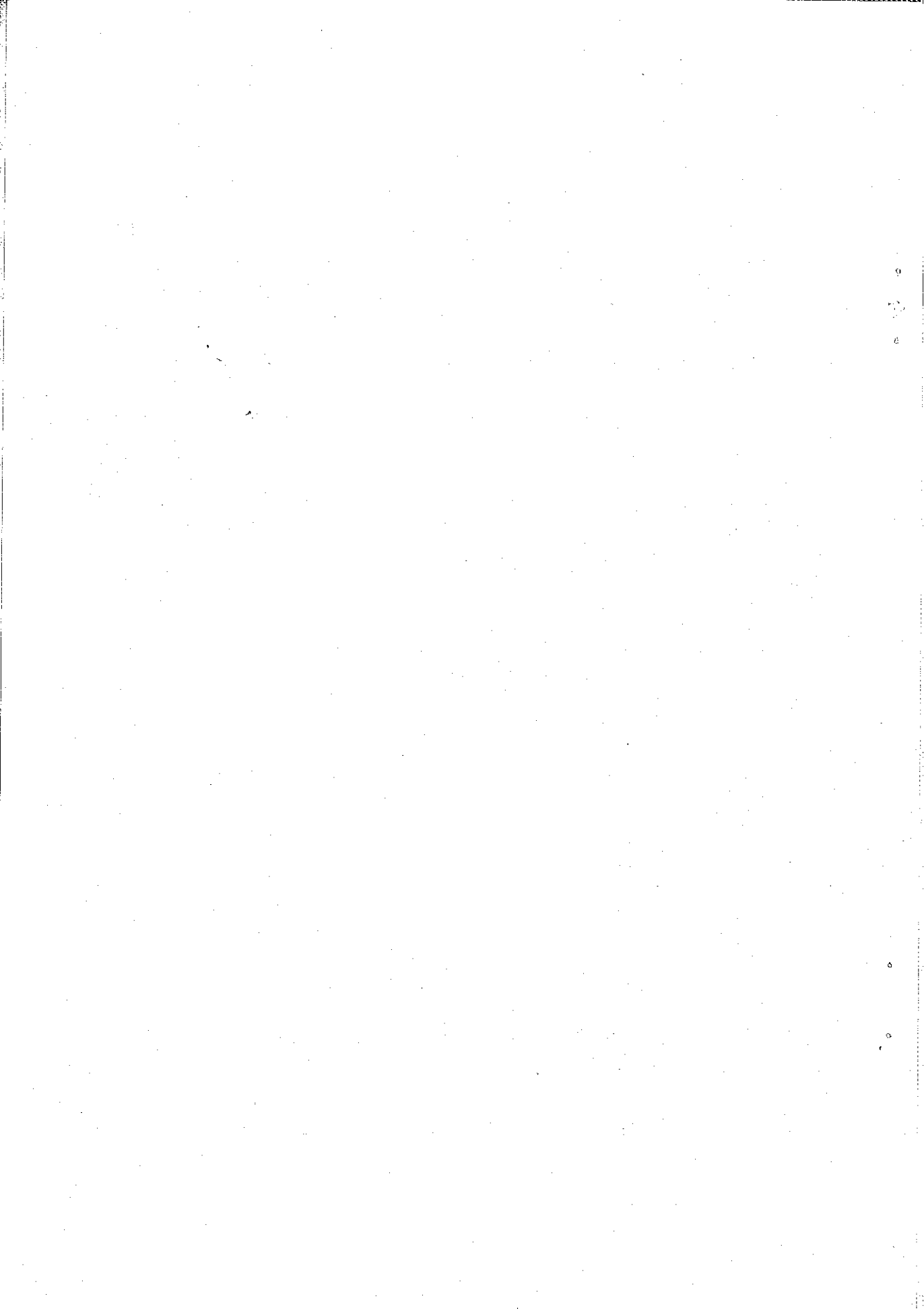






凡 例

1. 本書は、品川区の人口、行政、財政および教育文化などの各分野にわたり、重要かつ基本的な統計資料を集録したものであるが、ただ単に品川区のみの資料にとどまらず、東京都の状況等も集録した。
2. 資料の集録は、昭和47年または昭和46年度の統計を基準に集録し、他の年または他の年度の統計は原則として、比較対照、推移などの資料として掲げた。また各項目に適宜図表を挿入、これに解説をくわえ、統計表の理解上いささかなりとも資するよう努めた。
3. 区関係分については、品川区という名称を省いてある。
4. 統計表は、特に頭注等にことわりのない限り、何年とあるのは暦年（1月から12月まで）何年度とあるのは会計年度（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何月末、あるいは何年何月何日とあるのは、その期日現在の事実を示す。
5. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。
6. 統計表中の符号の用法は次のとおりである。
 - ……皆無または該当数字なし。
 - … ……資料なし。
 - x ……秘密を保持するための公表を控えた数である。
7. 数字の単位未満は四捨五入することを原則とした。したがって総計の数字と内訳の合計とが一致しない場合がある。
8. 集録した統計資料についての照会は東京都品川区総務部総務課統計係にされたい。



目 次

1.	区	の	沿	革	3				
2.	人		口		15				
3.	土	地	・	建	物	111			
4.	財	政	・	税	務	125			
5.	教	育	・	文	化	153			
6.	産			業		165			
7.	金			融		207			
8.	交	通	・	通	信	213			
9.	国民年金	・	国民健康保険			227			
10.	選			挙		235			
11.	区	民	・	厚	生	247			
12.	保	健	・	衛	生	・	公	害	259
13.	労	働	・	賃	金	271			
14.	区	営		施	設	283			
15.	警	察	・	消	防	303			
16.	電	気	・	ガ	ス	・	水	道	315
17.	物			価		325			
18.	付			録		339			

目 次

第一章 緒論	1			
第二章 概論	10			
第三章 基礎理論	15			
第四章 試驗方法	25			
第五章 試驗結果	35			
第六章 討論	45			
第七章 結論	55			
第八章 參考文獻	65			
第九章 附錄	75			
第十章 圖表	85			
第十一章 附表	95			
第十二章 索引	105			